

介護福祉学科 企画 「介護フェスタ」

～見て・触れて・気づく 介護福祉の魅力発信・啓発・体験型イベント～

報告者：中 村 直 樹¹⁾

1. 事業の概要

本事業は、本学が令和2年度青森県 福祉・介護人材確保対策事業補助金（以下、補助金とする）を申請・取得し、令和2年10月31日から11月15日にかけて全3会場のべ5日間にわたり開催したものである。厚生労働省が制定している毎年11月11日（「いい日、いい日」）の「介護の日」に併せて、地域住民や介護福祉に興味をもつ小・中学生、高校生等を対象に、介護のことを知り、理解を深め、一緒に考えることを目的に、平成29年度より本事業を企画・実施している。以下、今年度事業の詳細について報告する。

2. 事業実施の背景

介護保険法が施行されてからちょうど20年目の節目の年を迎えた今年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）を中心とする老人福祉・介護事業者の倒産が相次いで起こった。東京商工リサーチ¹⁾によると、2020年1月から12月2日までの「老人福祉・介護事業」倒産が112件に達し、介護保険法が施行された2000年以降で、これまで最多であった2017年と2019年の111件を上回り、最多件数を更新したと報じられた。元来、介護については、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる年に限界がやってくるといった、いわゆる“2025年問題”により介護崩壊が起こることが恐れられてきたわけであるが、今般の新型コロナウイルス発生により5年ほど早くバランスが崩れてしまったといえよう。

厚生労働省²⁾では、介護保険における新型コロナウイルス感染症に関する主な対応として、介護報酬、人員、施設・設備及び運営基準などについては、柔軟な取扱いを可能とすることとし、感染拡大防止のための施設内居室の改修費用や介護職員確保のための費用等を賄うため、補正予算を組んで対応にあたっている。

一方で、公益財団法人介護労働安定センターが令和2（2020）年8月に公表した「令和元年度 介護労働実態調査³⁾」の結果によると、回答した9,126事業所の65.3%が「人手が足りないと感じている」という結果となっている。前年度調査の67.2%とほぼ横ばいの推移となっている。また、公益財団法人介護労働安定センター青森支部が令和2（2020）年9月にまとめた青森県内における「令和元年度 介護労働者の就業実態と就業意識調査⁴⁾」によると、働く上での悩み、不安、不満等についての項目の中で、本県における回答の第1位が「人手が足りない（62.0%（前年比8.9%増）」）となっており、昨年の3%



写真1

1) 弘前医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科 (〒036-8102 青森県弘前市小比内3丁目18-1)

増と比較すると同項の値が約6ポイント伸びている。さらに、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の介護サービス事業所の経営への影響に関する調査研究事業(速報)⁵⁾」によると、全国の介護サービス事業所等を対象に、経営への影響について新型コロナウイルス感染症の流行前との比較をしたところ「悪くなった」と回答した事業所の割合が令和2年5月で47.5%、10月で32.7%となっており、感染症対策のための備え等による経営悪化が深刻化していることがわかる。また、正確なデータはまだないが、ニュース報道等にもみるように、特に訪問・通所系事業所の休業や倒産が多発していることや、対人援助による感染を恐れての離職等も懸念される。

これらのことから、平常からの人材難に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響がさらにそれに拍車をかけていると考えられることから、介護施設等における人材確保が急務であることが窺える。

これまでも人手不足の解消といった課題解決に向け、介護はやりがいと誇りの持てる、魅力ある仕事であることをPRし、介護分野への進学及び就業促進や人材確保・定着を図ることを主眼に、介護福祉士養成施設としての取組を模索し進めてきたが、今般の新型コロナウイルス感染症発生を受け、感染防止策を講じつつも、継続して普及・啓発に努めていくことを学内で申し合わせたところである。

以上に挙げたことを踏まえ、本年度も補助金を取得し、以下に挙げる県内3か所(東青地区、中南地区、西北五地区)の商業施設を会場に、福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えるための「介護フェスタ」を実施し、今後進学を目指す小・中学生や高校生をはじめ、広く地域住民に呼びかけを行う事業を開催したので、このことについて報告する。

3. 開催日時・場所

- 第1回目(五所川原市会場)
令和2年10月31日(土)
10:00~16:00
ELM(エルムの街)本館2F エルムホール
- 第2回目(弘前市会場)
令和2年11月7日(土)・8日(日)
10:00~16:00
イオンタウン弘前樋の口 ライトオン前特設会場
- 第3回目(青森市会場)
令和2年11月14日(土)・15日(日)
10:00~16:00

マエダガーラモール 1F 特設会場

4. 開催内容

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初開催を予定していた「MC×若手介護福祉士トークセッション」「福祉〇×クイズ大会」「介護レクリエーション体験」「ミニ講座 介護と防災を考える」の4イベントについて中止(取り止め)を余儀なくされたが、その他以下の内容について、規模を縮小し、感染症対策を行ったうえで設置(展示)した。

1) 介護福祉がよくわかるパネル展示

例年と同様に、介護福祉に関する各種情報を盛り込んだ大型パネルを展示(以下、パネル展示とする)した。介護福祉士の内容や資格の概要、資格取得に向けたルート、就業している施設・事業所等の概要などについて、説明や図表、イラスト等によりわかりやすく掲載した大型パネル19枚に加え、本学の取組について紹介した4枚をあわせた計23枚のパネルを設置し、来場者に閲覧してもらった。また、前述の「MC×若手介護福祉士トークセッション」が開催できないことを踏まえ、後述5)中のリーフレット内に掲載している若手介護福祉士に対するインタビュー取材の内容を大判紙に印刷したものを掲示した。



写真2 介護福祉パネル展示を閲覧する来場者ら



写真3 若手介護福祉士インタビュー内容の展示

2) 企画展「感染症対策 ～その時 介護現場では～」

今回新たに、介護施設・事業所等における感染対策や利用者及び家族への対応などについて、報告者を中心に独自取材した内容を3枚のパネルに集約し展示した。介護現場における手指衛生、体調管理、マスク着用、面会制限、オンライン面会等、介護職員の創意工夫について紹介した。

また、「Q&Aで学ぶ! 新型コロナウイルス・インフルエンザなどの感染症対策」と題し、介護・福祉現場における感染症対策についてクイズ形式により閲覧してもらえるように大判紙に印刷し、展示した。



写真4 企画展「感染症対策」①



写真5 企画展「感染症対策」②

3) 防災グッズ 展示コーナー

近年の国内における災害発生状況を踏まえ、家庭や施設等における防災力を高めることや福祉避難所等開設への備え等整備を進める必要性を啓発するために、災害時において活用できる「段ボールベッド」やテント式の「簡易トイレ」等を展示した。

4) 介護福祉機器・用品体験・相談コーナー

会場内に、最新の福祉機器・用品を手にとって体験することができるコーナーを設け、3モーター式の介護用ベッドや各特性に応じて対応できる車いす、歩行器、歩行車、多点杖、据置手すりなどを展示した。また、会場には福祉用具を扱う業者や本学教員が交代で常駐し、来



写真6 福祉避難所等で活用できる防災グッズ

場者からの介助方法や介護技術についての質問に対して説明・対応してもらった。また、体験前にはマスク着用及び手指消毒を来場者に依頼した。定期的に会場内を巡視し、器具・機材をアルコールにより拭き取り除菌することを徹底した。



写真7 福祉用具等を実際に試してみる来場者ら

5) イベントリーフレット・福祉の仕事ガイドブック・オリジナル介護マンガ冊子 配布

「介護フェスタ」イベントに際してのリーフレット、オリジナル介護マンガ冊子『わくわくどきどき 介護ってすばらしい』、さらに今回新たに作成した『福祉の仕事ガイドブック』を来場者に無料で配布した。

リーフレットの紙面内容は例年作成のものに合わせた形で、本イベント開催に係る補助金に関連した「青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン⁶⁾」についての紹介や介護福祉士国家試験受験までのルート図、介護人材のキャリアパス、令和元年度実施報告などの各種情報のほか、介護施設において介護職に従事している若手介護福祉士2名についてインタビュー取材をしたものを記事(読みもの)にして手に取りやすい紙面となるよう創意工夫した。

オリジナルマンガ冊子については、中学生・高校生にも読みやすい題材として、“高校生の友人同士が将来の

進路として介護福祉を選択していく上での様々な思いやオープンキャンパス等に参加した経験を経て介護福祉学科を有する短期大学に進学し、一度だけの人生で自分が誇りを持てる仕事に就くために、一歩一歩進んでいく”ストーリー展開を採用している。

『福祉の仕事ガイドブック』については、過去に開催した介護フェスタにおけるアンケートによる要望の中から、介護福祉士をはじめとする「福祉・介護等専門職を目指す上でのキャリアアップについて教えてほしい」旨の内容に応え今回新たに作成した。各専門職の仕事内容や資格取得のためのルート図、実際に資格を取り働いている人からのメッセージなどを盛り込んだ。



写真11 各種資料・リーフレット等 配布



写真8



写真9



写真10

6) 介護学生による学習成果発表

介護フェスタと同様に補助金により昨年度実施した小・中学校への「介護福祉出前講座」が今年度開催できないことも踏まえ、今回新たに、介護を学ぶ魅力を発信するための試みとして、「介護学生による学習成果発表」と題し、介護福祉を学ぶ学生を志したきっかけや目指す介護福祉士像、介護実習での取組などについて本学1年次学生14名にまとめてもらった内容を大判紙に印刷し掲示した。



写真12 介護学生による学習成果 展示

7) その他

- ・新型コロナウイルス感染防止への対策・対応

新型コロナウイルス感染防止の観点から、出入口等に手指消毒用のアルコール噴霧器を設置するとともに、来場者に向けて、会場内外に人と人との間隔（距離）を保ってもらうための「ソーシャルディスタンス」や、「マスク着用・手指消毒」をお願いするための啓発ポスターを掲示した。また同様の内容について事前録音したCDを会場内に流して注意を促した。

当初、イベント啓発用に作成し買い物客に配布予定であったポケットティッシュについては、会場内及び商業施設通路等に設置し各自が自由にもらえるよう配布方法を変更した。また前年度まで実施していた「介護食」の試食・試飲コーナーについては取り止めとした。感染力

スク軽減のため、前述の通り、観客を集めてのイベントスケジュールは中止とし、展示をメインに実施した。教職員及び学生、業者の常駐人員を削減し少人数で行った。

来場者アンケートについては、例年はパネル展示を見ていただいたクイズに回答する内容を盛り込んでいたが、来場者の密集を避ける観点から内容を限定して回答してもらうこととした。また、回答時に使用するバインダー及びボールペンのアルコール除菌を徹底した。アンケート回収・プレゼント配布場所には飛沫感染防止のためビニールシートを設置して対応した。

・来場者プレゼント（グッズ）

今年度は新型コロナウイルス等の感染症対策グッズとして、家庭や施設・事業所等の介護現場をはじめ様々な場所で活用してもらうために、マスクケース、アルコールタイプウェットティッシュ、発熱チェックシートの3点を作成し、介護食の調理に用いられているレトルト食品やゼリー等と一緒に無料で配布した。



写真13 感染症対策のためビニールシートを設置



写真14 作成した感染症対策グッズ

5. 効果

1) 来場者アンケートの実施

来場者にアンケートを実施し、3会場合計292名から回答を得た（令和元年度比▲57.9%）。アンケート内容は、性別、年代、住所地等の基本属性に加えて、パネル展示等を閲覧する前と後とは、介護福祉に対するイメージがどのくらい変化したかについて、「楽しさ」・「魅力」・「理解度」・「興味」の4項目について測定した。また、意見・感想について自由記述欄を設けた。以下、アンケート結果と分析について記す。なお、アンケートへの回答は来場者の任意である。

2) 各設問に対する回答結果

問1 回答者の性別

・男性117名、女性175名（計292名）

問2 回答者の年代

・上位順に、50歳代55名、40歳代53名、30歳代48名、70歳代35名、などであった。また、女性の来場者が約6割、男性が約4割であった。

問3 回答者の住所地

・上位順に、青森市112名、弘前市109名、五所川原市33名などであった。

問4 展示閲覧等前後の介護福祉に対するイメージ変化

・「楽しさ」・「魅力」・「理解度」・「興味」の4項目ともに、「楽しくなった」等の第2位に値する項目が一番多く、次いで「とても楽しくなった」等の第1位に値する項目が多い結果となった。

問5 意見・感想

・全年代を通して計68名の記述があった。
・全般的に、コロナ禍における介護支援や介護従事者の状況等について、パネル展示を通じて興味・関心・好感を持った旨の記述が多く見られた。また、最新の福祉機器・用品や防災対策の必要性等が理解できた旨の記述も見られた。
・介護福祉分野への進学・就職を検討している、または考えるきっかけになった旨の記述も見られた。

介護フェスタ2020 来場者アンケート 結果 (3会場合計)

①回答者の性別

男	女	計	昨年比
117	175	292	▲57.9%

②回答者の年代

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男	11	6	18	22	19	17	11	9	4	117
女	4	12	14	26	34	38	19	26	2	175
計										292

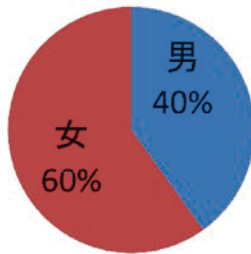
③今日はどちらからおこしですか？

性別	弘前市	青森市	五所川原市	黒石市	つがる市	藤崎町	平川市	大鰐町
男	42	38	16	6	4	3	2	1
女	67	74	17	1	6	1	5	-
計	109	112	33	7	10	4	7	1

性別	田舎館村	外ヶ浜町	鯉ヶ沢町	その他県内	県外	無回答	計
男	1	1	1	-	-	2	117
女	1	1	1	1	-	-	175
計	2	2	2	1	0	2	292

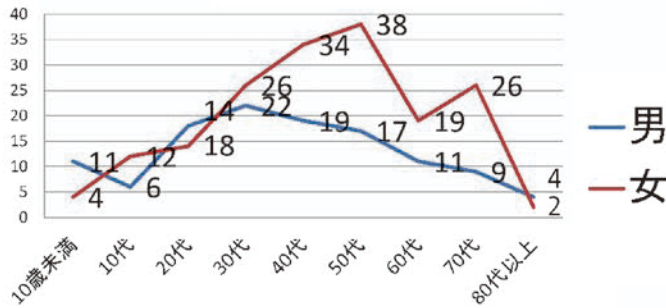
介護フェスタ 来場者アンケート 結果 (3会場合計)_(1)

① 回答者の性別

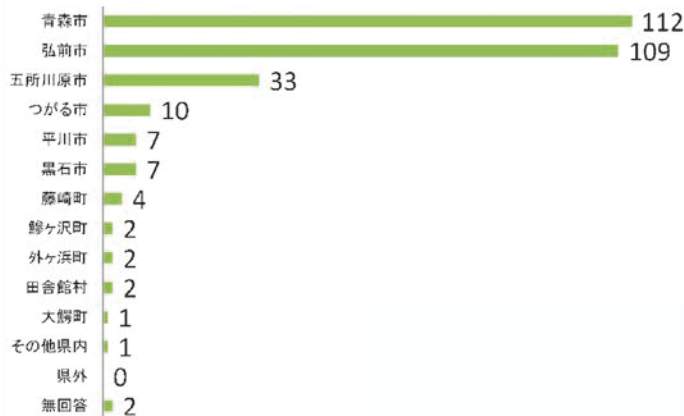


男	女	計
117	175	292

② 回答者の年代



③ 今日はどちらからおこしですか？



④介護フェスタパネル展示などをご覧になる前と後とは、介護福祉に対するイメージがどのくらい変化しましたか？

・楽しさ

性別	とても楽しかった	楽しかった	あまり楽しかなくなった	楽しくなくなった	無回答	計
男	48	63	4	1	1	117
女	57	107	4	-	7	175
計	105	170	8	1	8	292

・魅力

性別	とても感じられた	感じられた	あまり感じられなくなった	感じられなくなった	無回答	計
男	55	58	3	-	1	117
女	69	96	4	-	6	175
計	124	154	7	0	7	292

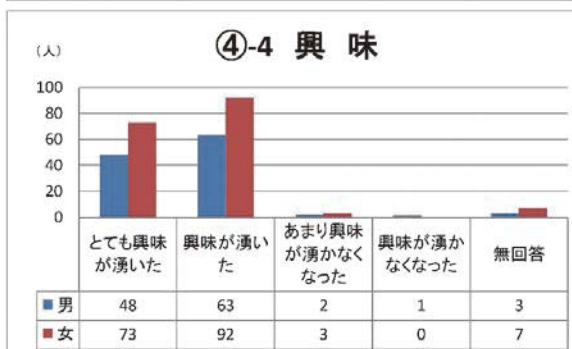
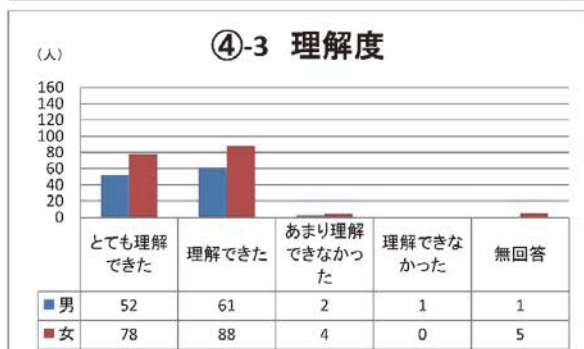
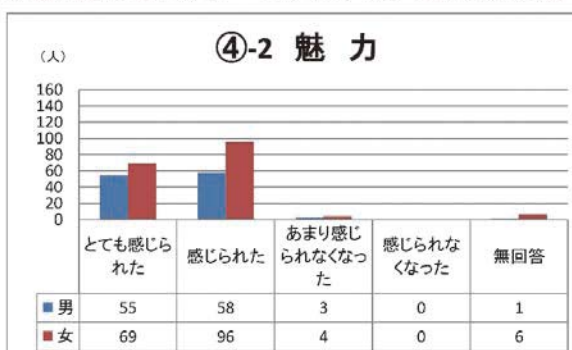
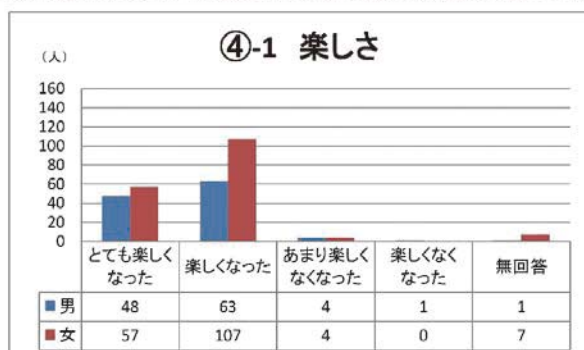
・理解度

性別	とても理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答	計
男	52	61	2	1	1	117
女	78	88	4	-	5	175
計	130	149	6	1	6	292

・興味

性別	とても興味が湧いた	興味が湧いた	あまり興味が湧かなくなった	興味が湧かなくなった	無回答	計
男	48	63	2	1	3	117
女	73	92	3	-	7	175
計	121	155	5	1	10	292

④介護フェスタパネル展示などをご覧になる前と後とは、介護福祉に対するイメージがどのくらい変化しましたか？



⑤その他、ご意見をお寄せください

年代	性別	内容（原文）
10代	男性	介護を身近に感じられるような展示が多くあり、勉強になる。
	男性	進路を考えるきっかけになりました。
	女性	とても勉強になりました！自分が学んでいることはまた違った視点の話が聞いて良かったです。
	女性	箸などを置いているコーナーで、お皿の中に豆とかが入れればより実感できると思いました。
20代	男性	段ボールベッドを初めて利用してみて、想像以上に丈夫で驚いた。快適だった。
	男性	福祉についてより勉強しようと思います。
	男性	福祉についてより勉強しようと思います。
	男性	介護について知識がなかったため、介護の楽しさ、興味、魅力と問われてもよくわからなかった。
	男性	支援への新たな取り組み方・考え方を学ぶことができました。
	女性	みんなに介護の良さが伝わりますように！
	女性	お疲れ様です！
	女性	色々な立場の人たちが、介護について理解を深められる場をありがとうございます。
30代	女性	資格を取るのに勉強をしっかりとしようかなと思いました。頑張ります。
	男性	若い職員が日々取り組んでおり感動した。
	男性	わかりやすくて良い。
	女性	来年も来ます！
	女性	コロナで大変だと思いますが、リモートできない仕事なので、がんばって下さい。by保育士
	女性	年年、介護の補助する機器とかも良くなっていて、身体への負担が少なくなっていると思いました。
40代	女性	ありがとうございました。
	男性	介護施設でのコロナ対策が知れて安心しました。
	男性	コロナで大変ですね。介護士の方も疲弊していると思います。手厚い支援をお願いしたいです。
	男性	介護トークセッションを楽しみにしておりましたが、コロナで中止とのこと、仕方ないですね。展示はとてもわかりやすく、ためになりました。
	男性	コロナで介護士さんも大変だと思います。パネル展示で取り組みがよくわかりました。世の中全般に、施設への誹謗中傷はやめてほしいですね。
	男性	段ボールベッドの寝心地が良くびっくりしました。また、コロナへの対策がよくわかりました。介護従事者にも手厚い支援をお願いしたい。
	男性	介護従事者なので勉強になります。
	男性	コロナ対策勉強になりました。自立支援のグッズも様々あり、使用方法も教えていただき勉強になりました。
	女性	立って目で見つけるのが少々つかれました。家でゆっくり資料を拝見します。
	女性	イベントを増やしてほしいです。
50代	女性	新聞を見て来ました。
	女性	自分の知らなかったことを知る良い機会になりました。ありがとうございます。
	女性	大変な仕事だと思う。
	男性	親切な対応ありがとうございます。
	男性	父が歩行困難になったため介護福祉機器・用品を見に来た。
	女性	介護用品など新しい発見があり感動しました。パネルも伝わるものがたくさんありました。
	女性	コロナで大変な中、おつかれ様です。
	女性	家族介護の参考になりました。
	女性	とても楽しかった。
	女性	亡くなった父が介護を必要としていたので、普段から介護や自治体によるサービスを理解しておくことは大切なことだと実感しています。もっと身近に様々な人が介護の知識に触れられる機会があればいいなと思います。
	女性	始めて見る便利グッズがあり良かった。でも、もうちょっと機器などがあれば良かった。
	女性	初めて見る物もあって、興味が湧きました。
女性	スタッフの皆さんの介護に対する熱意を感じました。ありがとうございます。	
女性	来月から介護職に就くので参考にしたいと思います。	
女性	介護の魅力が伝わってきました。	
女性	コロナが早く終わりますように。	
女性	介護福祉士を目指しています。	
60代	男性	コロナのために縮小されて残念でした。来年に期待したいです。
	男性	来年は、イベントもやれば良いなと思います。
	男性	頑張ってください。おつかれさまです。
	男性	コロナ対策に関する展示物もあり、日々の暮らしに大いに参考になりました。
	男性	家族に高齢者がいてケアの方法・技術を覚えていきたい。
	男性	世間ではこのような情報発信が少ないと思う。どんどん増やすべき。
	女性	「介護のプロ」を意識した若い学生さんがどんどん卒業している事を嬉しく思いました。
	女性	真意を持って接していくととてもやりがいを感じる事ができる仕事だと思います。見た方が、理解・興味・楽しさ・生きがいを実感できますように。お体に気をつけて。
	女性	勉強になりました。
	女性	よく考えられた良い商品を紹介してもらって勉強になりました。
	女性	自分も以前10年間、デイサービスで働いていました。若い人達に働きがいを持って欲しいです。離職率の少ない職場になって欲しい。
	女性	要介護になった人たちが家族にも教えたいと思った。
	女性	展示がとてもわかりやすく勉強になりました。
	70代	男性
男性		自分も使いたいと思う福祉用具が見つかった。
女性		病気の娘に介護ベッドを紹介するために教えてほしくて来ました。
女性		介護予防頑張ります。
女性		親の介護が終わり、自分もその年齢になった。現在の介護がどのようになっているかについて知ることができ、とてもためになった。
女性		大変参考になりました。
80代以上	女性	自分もいつか介護を受けるので参考にしました。こういう企画を期待します。
	女性	もっとはやく知っていればよかったなと思った。
	男性	解説文が理解しやすく、読みやすかった。
	男性	頑張ってください。

3) アンケートの考察

今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、来場者は前年度の約4割となった。感染防止対策の観点から、前年度まで取組んできたトークセッションやクイズ大会、キッズコーナー等をやむなく中止することとした。その代わりに新たに、コロナ禍における介護支援の状況や施設・事業所等で従事する介護職員の創意工夫や奮闘ぶり等取材し企画展示したことにより、介護・福祉の大切さをこれまでに増して情報発信できたのではないだろうか。10歳代をはじめとする若年層は自らの進路を検討するために必要なことについて、また、中高年齢層は親の介護について、高齢者は配偶者や自分自身の今後についてといったように、各年代によって捉え方や感じ方は異なるが、介護フェスタ等介護に関連したイベントへの来場・参加によりこれらを思い出したり振り返ったりする機会を得ることができ、そこを出発点として各自の介護に対する課題や目標に向かうことができるものと考えられる。来場者数は落ち込んだものの、介護福祉に対するイメージの変化は例年と同様の結果となったことや意見（自由記述への回答）が前年度より多かったことから、開催が一定の効果を生んだものと捉える。介護は「他人事」といった捉え方や「必要になった時に初めて遭遇」するものというのではなく、むしろ、「身近な存在」であり「なくてはならないもの」と捉えることが大切であり、介護について「見て・触れて・気づく」機会の重要性を再認識することができたものと分析するところである。

一方で、感染症蔓延によって介護分野が機能しなくなる恐れに対する危惧やこれに伴っての介護人材不足を懸念する意見・質問も一定数存在した。この点については、感染の収束状況をみながら、引き続き情報の収集と発信を行っていくこととしたい。

また、前年度の実施報告にも記載の通り、介護福祉について、若年層へのアプローチが不可欠となっていることから、これらに対する周知も継続して進めていくとともに、小・中学校への出前講座の実施等も再度企画・実施し、進路に対するルート開拓に早期に役立てられるよう取組む必要がある。

6. まとめ

実施4年目を迎えた「介護フェスタ」であるが、開催の是非や実施した場合の感染防止対策について今回ほど議論や準備を重ねたこともなかったように振り返る。本イベント自体が従来から集合型あるいは講演型の類に終始せず、パネル展示や福祉機器・用品コーナー等の形態も併せ持っていたことが幸いし実現にこぎつけることが

できた。また、従来の内容をさらにグレードアップするかのようにより、コロナ禍における介護支援や介護を学ぶ学生の学習成果等のアイデアも加味することで、新しい内容で開催することもできた。

いま、介護業界全体で、“利用者を守る視点”と“運営に支障を来さないようにする視点”の両面から、利用や面会等の制限を検討せざるを得ない状況が続いている。クラスター発生のリスクを下げるために、市中感染が増加する地域の介護施設・事業所では引き続きこのような自衛策を継続せざるを得ない状況と捉える。介護サービスを利用できない期間が長期化することは高齢者の心身機能やQOL（生活の質）の低下を招く恐れも多分にあるが、他方では感染リスクの低減も行わなくてはならず、二者択一できない状況下におかれている現状がある。なおかつ、自らも感染リスクと対峙し、対策に奔走させられている介護職員の体調面やストレスフルな状況、処遇改善等、課題が山積している。

こうした中であればあるほど、より専門性の高い介護職員を地域に安定的に輩出するといった介護福祉士養成施設としての強い使命感をもって努めていかなければならないと筆者は考える。介護は“人と人とのふれあい”を伴うものであり、業務をする上で利用者との“密”を避けることは困難であろう。コロナ禍において感染防止策を徹底しながら高齢者・障がいをお持ちの方等をサポートする、いわゆるエッセンシャルワーカーとしての一翼を担う介護福祉職を養成する教育機関として、福祉・介護人材確保に向けて引き続き寄与していきたい。

最後に、補助金の事務に際しご指導いただいた青森県健康福祉部健康福祉政策課、会場をお貸しくださった各商業施設の受入担当者、介護福祉機器・用品及びパネル展示、リーフレットやグッズ類等の作成に際しお世話になった関係業者、広報宣伝にご協力いただいた各報道機関及び行政機関、ご来場くださった多くの市民の皆さまに心から感謝申し上げる次第である。

・役割分担（敬称略）

	10/31(土) エルム	11/7(土) イオンタウン	11/8(日) イオンタウン	11/14(土) マエダガーラ	11/15(日) マエダガーラ
企画・運営担当	中村 直樹				
事務・運営担当	佐藤 吉彦				
教職員スタッフ(運営担当)	戸来 陸雄 相馬 陽子 塩谷 千晶	戸来 陸雄 相馬 陽子	戸来 陸雄 相馬 陽子	戸来 陸雄 相馬 陽子	戸来 陸雄 相馬 陽子
(撤収担当)	工藤 雄行 福士 尚葵	-	工藤 雄行 福士 尚葵	-	工藤 雄行 福士 尚葵

※新型コロナウイルス感染症対策により、当初計画より大幅に人員削減した

文 献

- 1) 東京商工リサーチ：2020年「老人福祉・介護事業」の倒産状況。
https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20201203_02.html（最終閲覧日2020/12/20.）
- 2) 厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会：介護保険における新型コロナウイルス感染症に関する主な対応（報告）（第177回（令和2年6月1日実施）資料5）。
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000635472.pdf>（最終閲覧日2020/12/20.）
- 3) 公益財団法人 介護労働安定センター：令和元年度「介護労働実態調査」の結果. 1. 2019.
http://www.kaigo-center.or.jp/report/pdf/2020r02_chousa_kekka_0818.pdf（最終閲覧日2020/12/20.）
- 4) 公益財団法人 介護労働安定センター青森支部：令和元年度「介護労働者の就業実態と就業意識調査」. 7-9. 2020.
<http://www.kaigo-center.or.jp/shibu/aomori/809fea9ebed147e58b7e91c2930e48382c0c8d48.pdf>
（最終閲覧日2020/12/20.）
- 5) 厚生労働省 介護給付費分科会 介護事業経営調査委員会：第31回委員会 参考資料「新型コロナウイルス感染症の介護サービス事業所の経営への影響に関する調査研究事業（速報）」. 1-8. 2020.
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000689854.pdf>（最終閲覧日2020/12/20.）
- 6) 青森県：青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン（解説編）. 13-19. 2016.
- 7) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会：近い未来の介護福祉士.
<http://kaiyokyo.net/future/index.html>（最終閲覧日2020/12/20.）